



師走

早いものでもう師走です。令和四年も、新型コロナウイルスへの対応が続き、先が見通せない一年でした。それでも、昨年よりは、感染予防の対策が明らかになり、この二年間見合わせていた、林間学舎や修学旅行の実施などの行事や学習活動の幅が広がりました。本校は大規模校の一つで児童数が多いため、様々な対応が必要でしたが、学校だけでなく、宿泊先や見学先、バス会社なども、子供たちのために様々な対策を取って下さいました。すべてのことに感謝の思いでいっぱいです。

これから、年末年始を迎えますが、この一年間を振り返り、新しい年、三学期も充実した学習活動を行えるよう、保護者の皆様と力を合わせていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

集い 培う 未来へ 行動力 つながり 響き合う 心

ESD学習発表会・作品展に、保護者の皆様をはじめ、本校のESD学習にご支援頂いています地域や行政の皆様方の参観をいただき心より感謝しております。皆様の温かいまなざしのおかげで、子どもたちは心地よい緊張感を保ちつつも、伸び伸びとESD学習の成果を発表することができたと思います。

本校のESD学習は、つながりを大切に、ESDメガネで捉え、その課題を「自分事としていかに行動できるか」に取り組んでいます。

また、新田版「学びの四本柱」を基に、「知ることを学ぶ」「なすことを学ぶ」「ともに生きることを学ぶ」「人間として生きることを学ぶ」の四つの学びで培った力を応用して、プレゼンテーションや演劇、演奏、作品で発表しています。

どの学年も、決意等がしっかりと伝わってきました。「言葉や歌」「作品」が語りかける「発表者の気持ち」「優しい心」など、一つ一つの言葉や作品に説得力があり、真に迫るすばらしい発表でした。年々クオリティーの高まりを感じます。

このような発表ができたのは、子どもたち自身が課題を自分事して受け止め行動したいという気持ちがあったからだと思います。また、取組みの過程で、「成功させるためには、どのような努力が必要なのか」という先生たちの問いかけに、「互いによいところや悪いところを教え合う。一人ではなやまず助け合うことが必要だと思う。心を一つにして認め合うような努力が必要だと思う。」と考える子どもたちの姿も見られました。

「なすことを学ぶ」「ともに生きることを学ぶ」をまさに実現する貴重な場となりました。

今年も 3年生が フードドライブに 挑戦!



フードドライブとは、食品ロスを少しでも減らすために進められている活動の一つであり、学校や職場、イベントなど、人の集まる場所ならいつでもどこでもできるボランティア活動です。

家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。フードドライブは、アメリカで食品ロスの削減と生活困窮者支援の目的で始まったと言われています。

三年生は、ESD学習の一環で、食品ロスを減らすための取組みを進めており、2月に豊中市の「フードドライブ」に参加し、食品ロスやボランティアについて学びます。

このフードドライブにご協力いただける方は、賞味期限内・未開封の食品があれば、お子さんをとおして学校へ届けていただきますようお願いいたします。

集まった食品は、市の社会福祉協議会を通じて、「こども食堂」や「生活困窮者支援」などに活用していただく予定です。

回収期間は

ESDウィークの2月13日(月)~17日(金)

お願いします。



で、朝、三年生等が校門で回収活動をします。

また、ESDフェスタ当日2月14日(火)にも三年生教室前等に回収BOXを設ける予定です。

保護者の皆様には参観の折にご協力いただくと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

<豊中市のフードドライブの仕組み> 市内完結型

皆でフードドライブに参加しましょう!

- ・家であまった食品
- ・お歳暮などの贈答品
- ・売れ残りの商品など

提供

- ・豊中市社会福祉協議会等

集荷

- ・店舗回収
- ・イベント開催など



分配

- ・こども食堂
- ・生活困窮者など

この仕組みは、豊中市内ですべてが循環していることから市内完結型といわれています。

冬休みは思い出の宝石箱

私子どもだった頃を思い出して

終業式の夜はサンタさんに会える日
ワクワクドキドキしながら布団に入る
いつもより早く目覚め、枕もとを探す
「ある！ある！」
隣で寝ている姉も、にっこり！
姉妹二人で大騒ぎした25日の朝



28日、早朝から家族総出でお餅つき
セイロから立ちあがる湯気
庭先に甘くて香ばしいおこわの匂いが漂う
打ち手の祖父と揉み手の祖母の息の合った掛け合い
次の打ち手は父
おこわが瞬く間に大きな塊になっていく
搗き上がったお餅を母が丸める
姉も私も餅取り粉を両手に付け母を手伝う

玄関には祖父手づくりのしめ縄飾り
大きな鏡餅を床の間に
神棚や仏壇にもお餅を供える

大晦日、家族がテレビの部屋に集まる
年越しそば、紅白歌合戦、除夜の鐘



迎えた元日の朝、一家そろっての
「明けましておめでとうございます」の挨拶を交わす
年少者から一年の抱負を述べる
未だに追いつかない母の御雑煮の味
待ちに待ったお年玉 そして初詣
休みはなんて楽しいのだろう

懐かしい思い出が今鮮やかに甦っています。

年末年始は保護者の皆様方にとって一番お忙しい時期とは存じますが、子どもたちは冬休みの行事を大変楽しみにしています。

感染症予防対策を講じながら家族団欒のひと時をお過ごしください。

新しく迎える年が皆様にとりまして希望に満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。

